

事務事業 No./名 称	☐ サービス部門 環境-11 名越クリーンセンター処理事業 ☒ 支 援 部 門								
主管課	環境施設課	関連課	名越クリーンセンター、今泉クリーンセンター						
分野名	生活環境								
目標 (目標値)	名越クリーンセンターの延命化工事を実施することにより、平成27年度以降10年を超える施設の稼働体制を整える。								
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備 考				
	人 口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯					
	事業の対象者数								
運営資源 状 況	決算値(千円)	15,698千円			平成22年度からスタート の新事業。				
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	15,698千円							
	人員配置数	2.0人							
	人件費(千円)	17,936千円							
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	33,634千円							
	市民1人当 りの経費(円)	190円							
	対象者1人 当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名								
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(26年度)		
平成27年度以降、施設の10年を超える延命化	○	目標値		100	100	100	100		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値		100					

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。	
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。		④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。	
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)		⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	
名越クリーンセンター処理事業	15,698千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	名越クリーンセンターの長寿命化調査を実施し、10年を超える延命化計画の策定を行う。				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)					
H22年度の課題	燃やすごみの高カロリー化に伴う延命化計画は完成したが、市の施策変更に伴い燃やすごみの中カロリー化に伴う延命化計画の必要性が発生したが、平成23年度に持ち越しとなった。				
課題解決のための取組	予算化し、平成23年度中に燃やすごみの中カロリー化に伴う延命化計画を策定し、延命化に向けた次のステップに進む。				
未解決の課題	延命化工事に伴う諸問題(自区外処理・建設工事・地元町内会への対応等)への対応。				
今後の方針	平成26年度末に、延命化工事が終了するよう、課題の一つひとつを解決していく。				
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒	A	※ □事業完了	課長名 環境施設課長 小柳出 延之

